

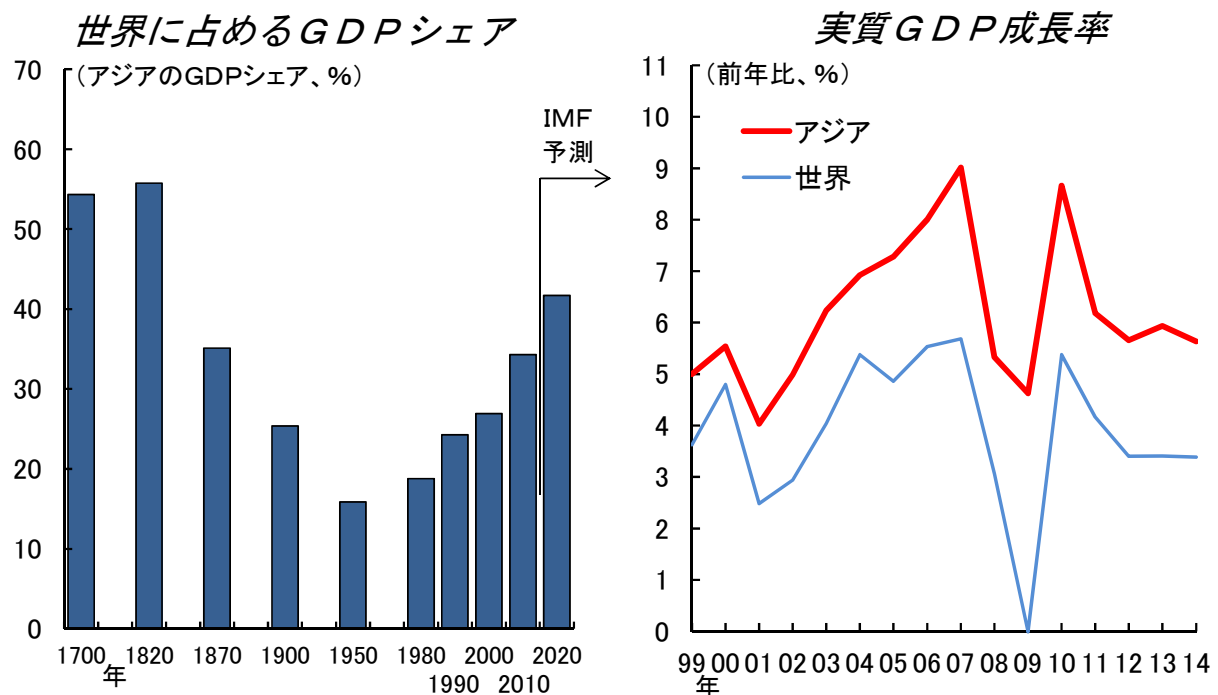
アジア経済の過去・現在・未来

日本証券アナリスト協会主催国際セミナーにおける講演

2015年4月24日
日本銀行副総裁
中曾 宏

図表 1

アジアのGDPシェア

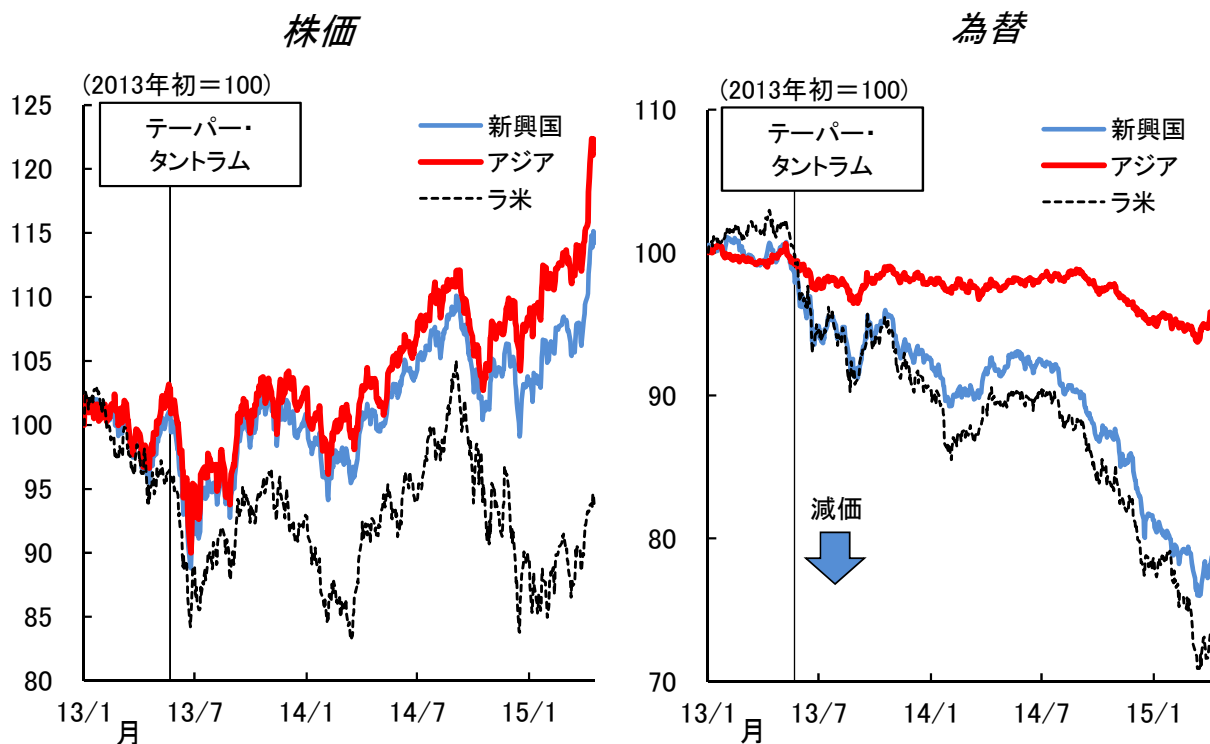


(注) 1. 1980年以降はIMF、それ以前はMaddisonによる算出。

2. アジアは、日本、中国、インド、NIEs (韓国、台湾、シンガポール、香港)、ASEAN4 (インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン)、パキスタン、バングラデシュ、ミャンマー、スリランカ、ネパールの計16か国。

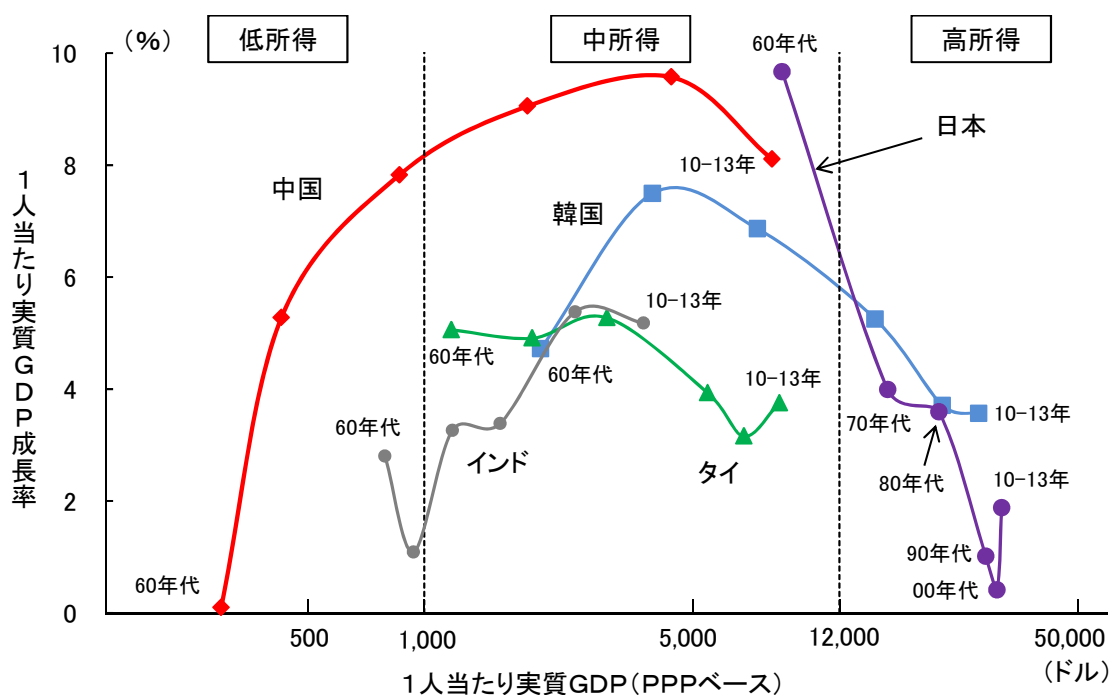
(資料) IMF、Angus Maddison "Statistics on World Population, GDP and Per Capita GDP, 1-2008 AD"

アジアの金融市場



(資料) Bloomberg

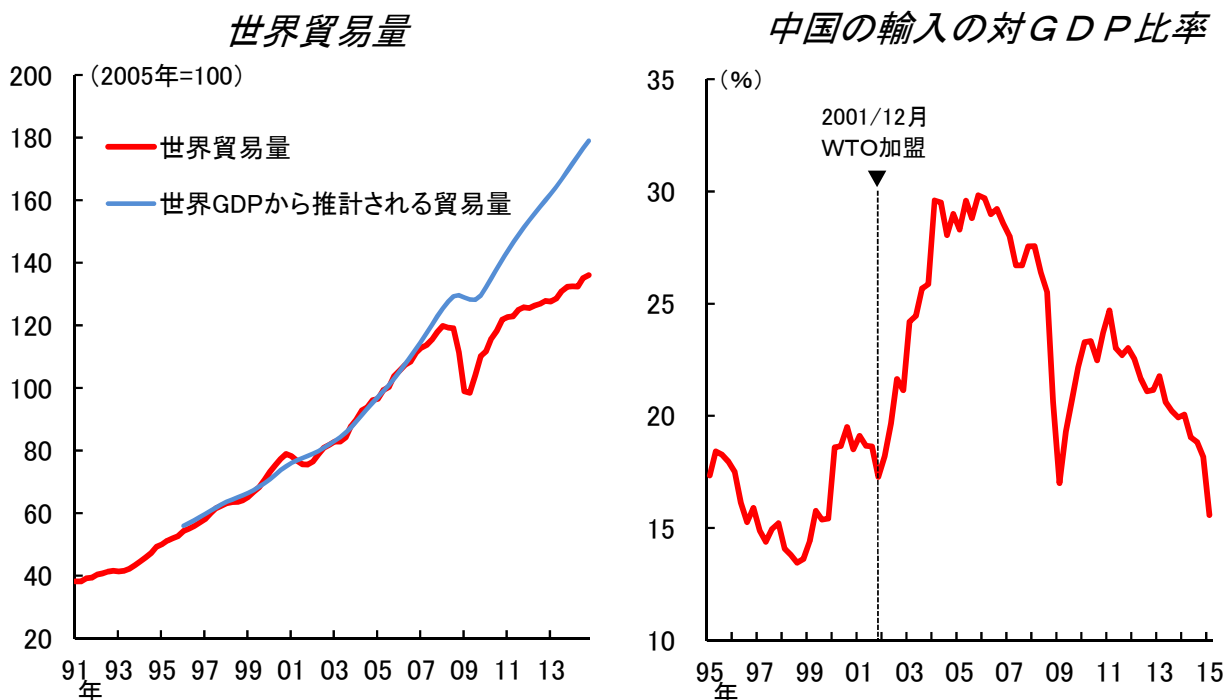
アジア諸国の経済成長



(注) 各年代の平均。横軸は対数表示。

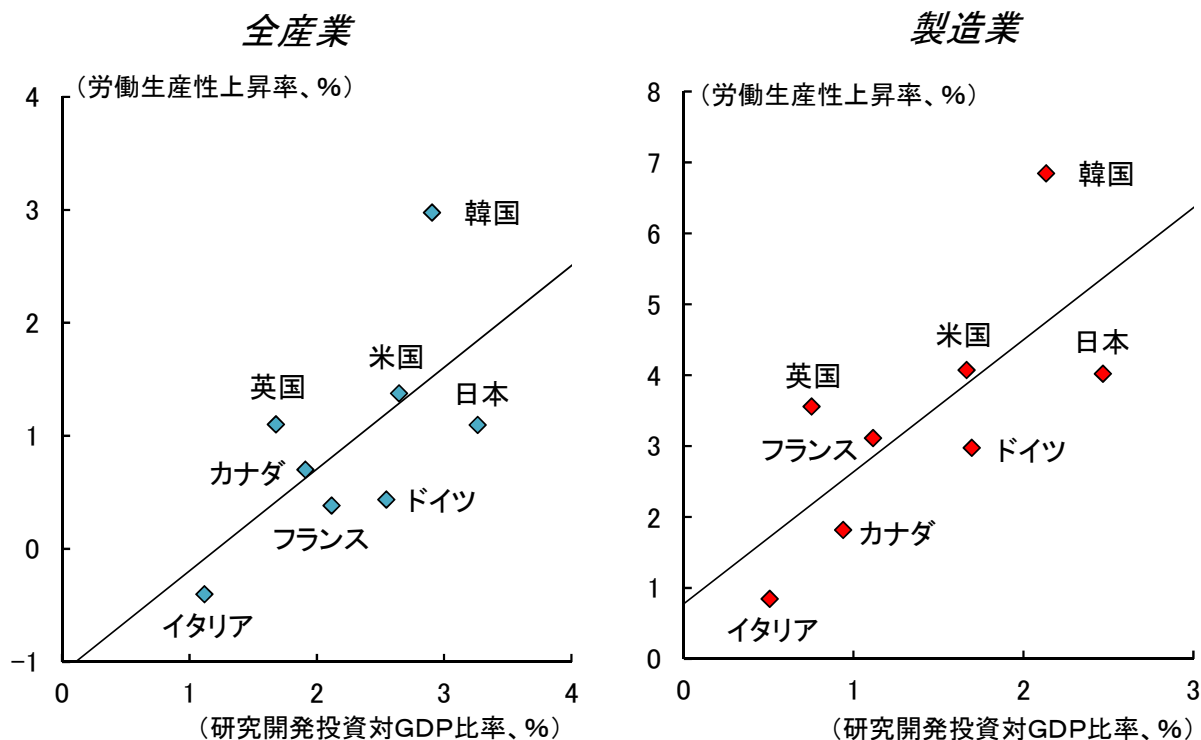
(資料) 世界銀行、Penn World Table

世界貿易を巡る変化



(注) 世界GDPから推計される貿易量は、1996～2007年の貿易量とGDPの単回帰式から、貿易量を推計。
2008年以降は外挿。
(資料) CPB、HAVER

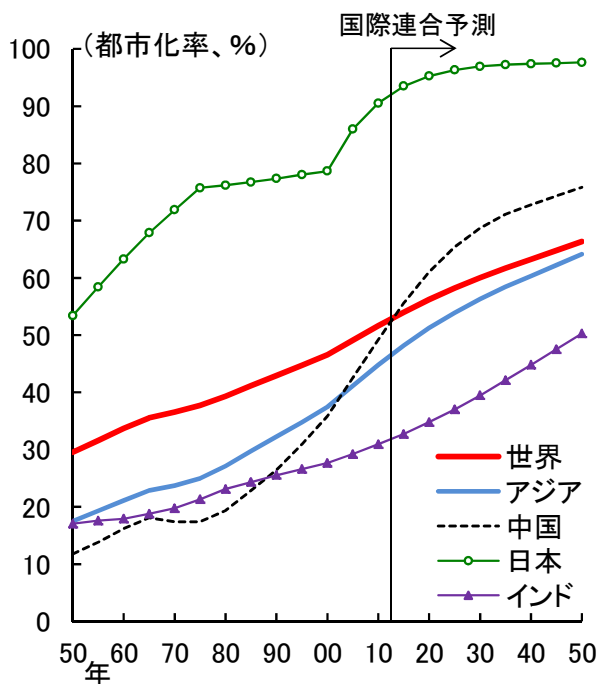
研究開発投資と労働生産性



(注) 2000～2012年平均。右図の研究開発投資は民間企業ベース。
(資料) OECD、国際連合、ILO、HAVER

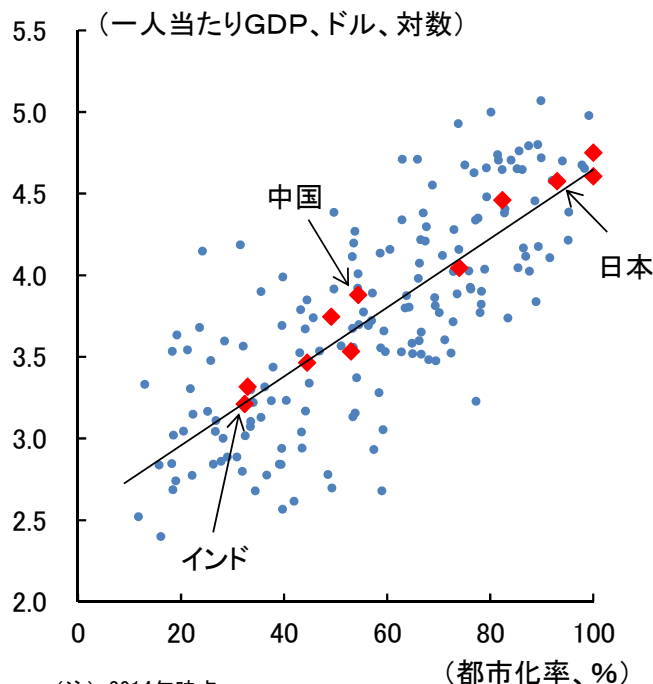
都市化の進展

アジアの都市化率



(資料) 国際連合、IMF

都市化率と経済成長



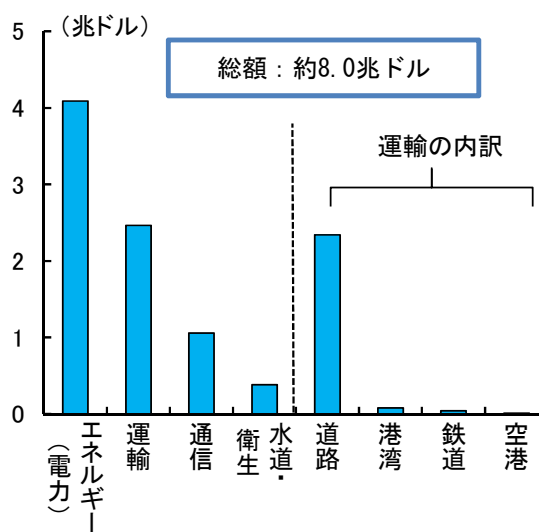
ビジネス環境とインフラ需要

ビジネス環境

(189か国中の順位)

	ビジネス環境	事業設立	建設許可取得	電力事情
シンガポール	1	6	2	11
香港	3	8	1	13
韓国	5	17	12	1
マレーシア	18	13	28	27
台湾	19	15	11	2
タイ	26	75	6	12
日本	29	83	83	28
中国	90	128	179	124
フィリピン	95	161	124	16
インドネシア	114	155	153	78
インド	142	158	184	137

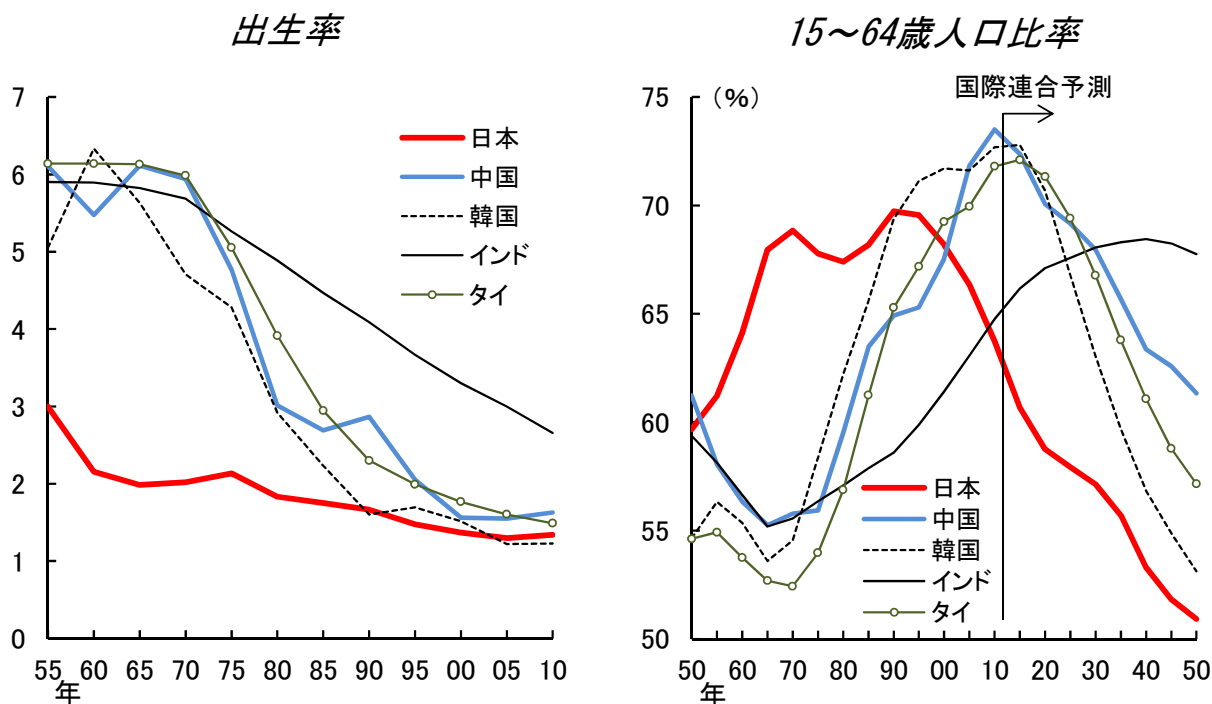
アジアのインフラ需要見通し



(注) アジアのインフラ需要見通しは、2010～2020年の累計額(2008年実質価格)。集計対象はアジア太平洋地域の30か国。

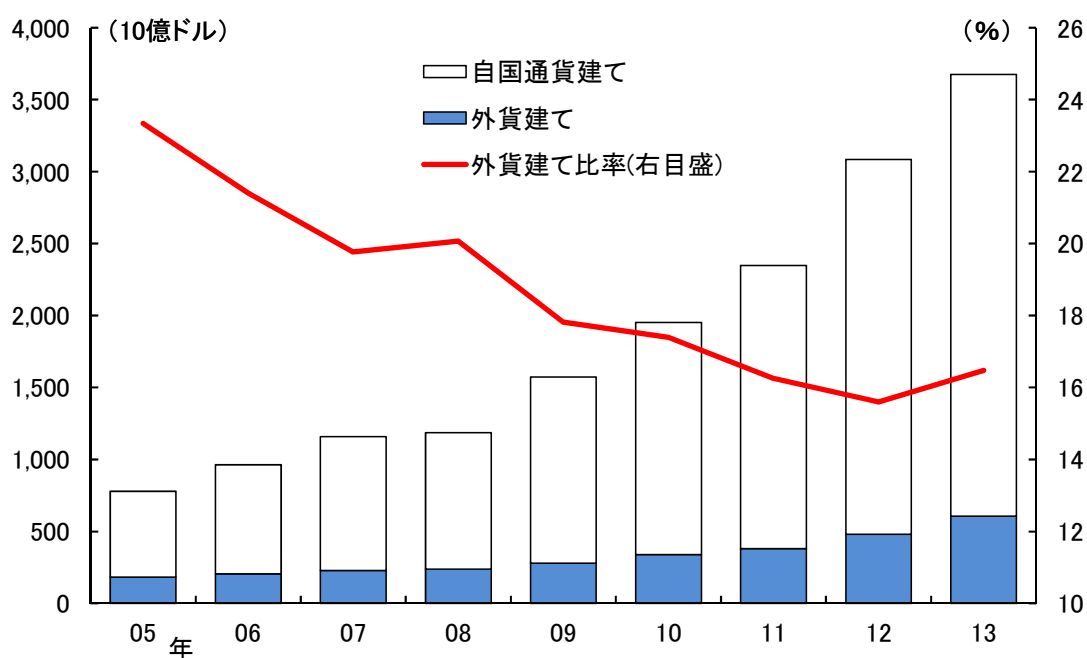
(資料) 世界銀行、アジア開発銀行

人口動態



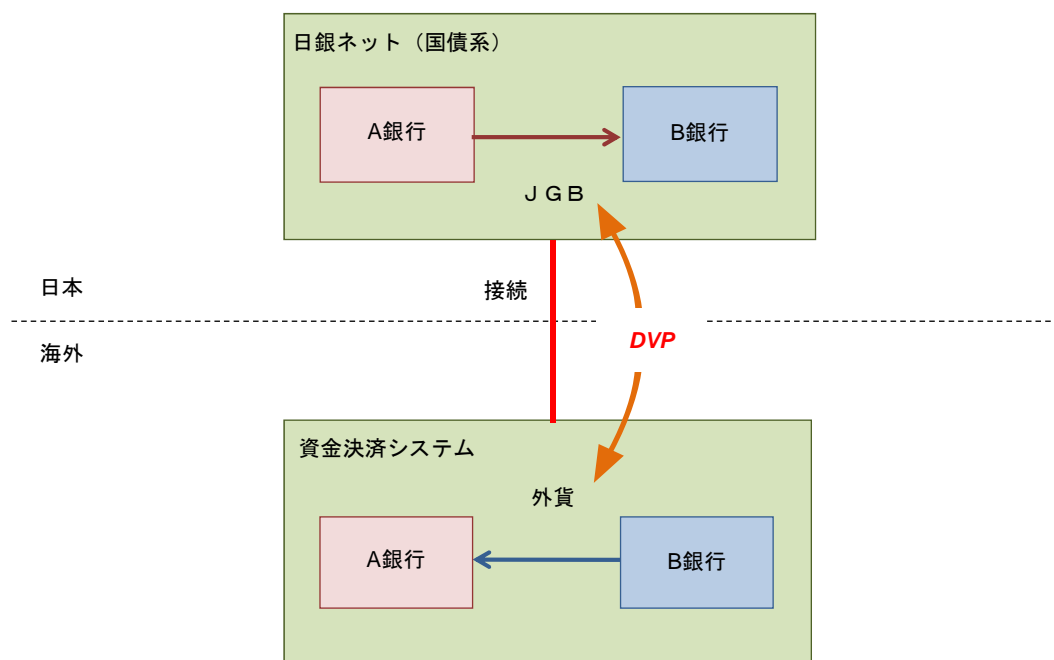
(注) 出生率は、各国の合計特殊出生率。
 (資料) 国際連合、HAVER

アジアにおける社債発行残高



(注) 対象国は、日本を除くアジア9か国。
 (資料) Asian Bonds Online

決済システムの接続のイメージ



(注) DVP(Delivery Versus Payment)は、国債などの証券の引渡しと代金の支払いを同時に決済する仕組み。

CMIM(チェンマイ・イニシアティブ・マルチ化)

【イメージ図】



ベトナム



ブルネイ



カンボジア



中国



香港



タイ



シンガポール



フィリピン



ミャンマー



マレーシア



ラオス



インドネシア



日本



韓国

CMIM取極書

要請国に対し、各国のドル外貨準備
から協同で資金を拠出する約束

クロスボーダー担保スキーム

(日本銀行・タイ中央銀行間の事例)

